

令和4年度授業改善推進プラン

清瀬市立 中学校 第1学年

	授業における課題や学力調査資料から見た課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて自分の考えを書き力。 文章を書く上で適切な助詞を用いて書き力。 文学的文章において内容を読み取る力。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート指導、作文指導等、「書く」機会を意識的に増やすよう心掛ける。 ペアやグループで登場人物の心情について話し合う機会を設ける。 	<p>【成果】作文や評論文の授業において、書き力を伸ばすことができた。</p> <p>【課題】補習をするなどして、理解に時間がかかるC評価の生徒への手立てを厚くしたい。</p>
社会	<ul style="list-style-type: none"> ①知識を結び付け、考えを深める習慣を付けること。 ②自分の考えをまとめ、他の生徒と意見を交流し、深め合うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②単元のまとめなどでこれまで学んだ事を生かして自分の言葉でまとめたり、他の生徒と意見を交流したりする活動を行う。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用し、生徒が主体的・対話的に学びに向かう習慣が付けてきたことが成果である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の資料から情報を結び付けて思考・判断・表現する力を伸ばしていくことが課題である。
数学	<p>学力調査の結果から、以下の点が課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①授業の内容が「どちらかといえば分からない」「ほとんど分からない」と回答した生徒が7%いた。 ②「数学で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している」という質問で、47%の生徒が「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答していた。 ③「問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている」という質問で52%の生徒が「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①習熟度別授業で、数学の理解が難しい生徒が理解できるように、授業内容や授業の進め方を工夫して授業をすすめていく。 ②説明することで、考え方や理解が深まると考えられる。授業の中で、自分の考えを説明する場面を増やしていく。 ③問題文を理解することに困難を感じている生徒が多い。理解しやすいように自分で工夫して考えられるように、授業内容や問題演習の進め方を工夫していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いに教え合う活動(話し合い活動)は、タブレットを活用するなどしてできた。次年度に向け、タブレットをさらに有効活用し、話し合い活動をより充実させる指導を行う。 基礎基本の定着に差が出てしまっている。朝学習を活用し、基本問題を繰り返し解かせ、できるようになったという、自己肯定感をもたせる。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものや現象について、科学的にみるための基礎知識を身につけること。 身の回りの現象について、原因の探究と量的な関係を考えるための基礎を身につけること。 	<ul style="list-style-type: none"> 物事を科学的に考えるための基礎として、生物の場合には、主に分類によって特徴をとらえられることを理解させるように問いかけるようにする。 ものについて、物質という観点と物体という観点から考えられるように問いかけをするようにする。 地球の現象についても上記の内容を理解し、地層などから進化などを考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の動画をICT機器で鑑賞することが、生徒の興味関心の向上に繋がった。 単元ごとに小テストを行い、生徒の基礎的な知識の定着に繋げることができた。 実験についての考察を自分で考え、表現することができない生徒がいる。考えをまとめたり、表現する活動を増やす。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大のため、歌唱を伴う授業の際の制限や、マスク着用での歌唱練習となり、生徒の発声法の確認の不十分となり、生徒自身の歌唱への意欲が低下し、また、表現力も低下している。 校歌や合唱ではない歌曲曲への学習意欲の低下。 音楽の基本的な知識が小学校ごとに偏っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱に関しては、生徒間の距離を保ち歌唱すること。 模範的な合唱の動画を鑑賞することで、より良い発声法を考えさせ、理論的により良い発声法を理解させる。 楽譜に関する基礎知識についても折に触れて学習させ、ある程度の基本的な知識を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱については積み重ねが重要であるから、今後も歌唱の時間を多く取って、歌うことの抵抗感をなくしていく。 政府の方針を確認しながら、マスクをつけずに歌唱指導を行う。
美術	<p>入学後、画材の基本的な技能の習得に時間を割いたが、理解不足を感じる生徒の割合が例年より多い。またその傾向も個別指導により発見されるものが多い。</p>	<p>2学期から週1回の少ない授業数となるが、授業後の作品の途中経過の評価の時間を多く設け、次回の全体指導、個別指導につなげていく。</p>	<p>いくつかのパターンが考えられるデザインを、ICTによる試行錯誤を通し、より視覚的に残る資料を材料とした授業を経験し、定着させることができた。また、技能面でも従来の一斉授業で苦慮していた指導を動画資料により効果的にすることができた。</p>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に体力レベルが低い 身体の使い方や基本的な技能が身に付いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 補強やトレーニングを毎時間取入れ、体力向上に努める。 手本などを参考にしたり、自分の動きをICTで撮影したりしてイメージをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期以降、持久走を取り入れ、種目別に応じた補強運動を取り入れ、体力の向上に務めた。 体の使い方はかなり上達してきているので、試合などで活かせるように発展的な、技術指導をしていく。
技術・家庭	<p>(技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間と自分の力量を把握したうえで作業を進めることができない生徒がいる。 安全面の意識 <p>(家庭科)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの体験から学習内容を理解し活用したり工夫できるようにする。授業を受ける意欲はある。 作品製作意欲はあっても技術が伴わない生徒もいる。 	<p>(技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> Chromebookの活用。 補充的な学習時間の確保(PC室・休休み)。(家庭科) 自ら考えたり、工夫しようとする時に適切な助言を与えるようにする。 生徒間の意見交換や工夫点を考えさせる。 	<p>(技術)</p> <p>4月よりChromebookを活用していたこともあり、端末を自然な形で活用させることができた。場所を選ばず活動できるので、進度に差がつかなくなった。</p> <p>(家庭科)</p> <ul style="list-style-type: none"> 刺子の実習や袋の製作を通して計画に従って作業に取り組み事ができるようになった。 衣生活の基礎的な知識も身に付いた。
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> 英音に関しては以前の学習指導要領時の生徒より格段に慣れている。 話すことに対しても抵抗はない。 書くことに対しても抵抗はないが正確さを求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れている英文を今後もたくさん聞かせていく。 繰り返す英語だけではなく、言いどみながらも自分の考えや立場を表現するように勇気づけていく。 見ながらでも正確に、こちらの訂正やフィードバックで書く気を喪失させないように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手とのやり取りを繰り返すことで、基本的な表現に慣れ親しませることができた。 単語テストを一定期間、毎時間行うことで、単語の綴りに対して意識させることができた。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ①学習した教材について、自分や自分たちのこととして真面目に考えられる生徒が多い。優しさや思いやりの気持ちを持って、物事を考えられる生徒が多い。 ②道徳の授業に前向きに取り組んでいる生徒が多い。ただ、話し合い活動で、1つの意見に対して自分の意見を述べて、討論したりお互いの考えを深めるという活動が十分にできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ①真面目に考えたり、優しさや思いやりを持って考えられる良さを今後も大切に育てていく。 ②前向きに考えたり、取り組むことができる良さを今後も伸ばしていくとともに、意見を出し合ったり、討論したりして、お互いの考えを深める活動も大切に行っていく。 	<p>成果 生徒の実情を考慮し、内容項目に合ったテーマを工夫して取り上げ目標を達成できた。</p> <p>課題 生徒の実態や学校行事などを考慮し、適切な内容項目を選択し計画を作成する必要がある。</p>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 1学期は「フィールドワーク」という、自分たちの地域についてタブレットで調べたり、実際に出かけて、見て、調べた活動に取り組んだ。その中で、以下の点が課題である。 ①タブレットを使った、各自の事前学習や事後学習に前向きに取り組んでいる生徒が多かった。 ②実際に外に出かける際に班活動を行ったが、班でまとまって行動ができない面がみられた。また、班での事後学習の話し合いをもう少し深められれば良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ②2学期に校外学習を行うので、フィールドワークでの改善点を改善して、班で協力して班行動ができるようにしていく。その先のスキー教室や修学旅行につなげていけるようにする。事後学習については、取り組む内容について検討して、生徒の活動が充実できるように計画する。生徒の前向きに取り組む姿勢や態度を伸ばして育てていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 各行事においてスライドを用いて班単位で活動した。 「フィールドワーク」「職業調べ」「川越校外学習」「SDGs」他職業講話を実施し働くことの意義について学び取ることができた。 川越校外学習では、その行程などについて情報端末を活用した。